

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フレッシュワンアップクラブa		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 24日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	90	(回答者数) 80
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	未就学児から高校生まで幅広いお子様の受け入れが出来る。 その日のお子様の様子に合わせて、活動内容の変更が可能。	お子様が楽しんで活動に参加出来る様、新しい活動を都度考え て取り入れている。	チャレンジした事に対してスタッフの意見交換・共有事項を 常に行っている。
2	言葉での説明・文章化した説明ではなく、体験型の活動を行 う。	教室でのおやつ提供で模擬通貨を使い、実践する事で計算力・ 考える力など生活力に繋げる。	読み聞かせや振り返り学習で想像力・思考力・感覚など、脳 領域の活動を活発にする。 教室での体験から実際に屋外での体験とレベルUPしていく。
3	陸上運動・水中運動を取り入れる事により、体幹強化・バラ ンス感覚・筋力の向上が図れる。	利用者の話を傾聴し、無理なく楽しみながらレベルに合わせた 活動を取り入れる。	成功体験を積み、更にレベルUPを目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢の幅・発達の特徴の違いがある為、集団の活動が出来な い。個別の活動もスタッフの人数に限りがある為、難しい。 レベルによって利用児童全てマンツーマンで見られず、対応が 難しく、小集団に入れざるおえない。	専門スタッフPT(理学療法)・OT(作業療法)・ST(言語聴覚療 法)が在籍無しの為、専門分野の知識が自学となってしまう。	スタッフの充実。
2	お子様のパニック・突発的行動があった時のスタッフの対応の 仕方。	お子様の特性により、痙攣(かんしゃく)や暴力的な行動をおこ した時に安全かつ敏速に対応するにあたり、場を変える必要が あるが抱えての移動となる為、虐待と思われがちになっ てしまう。	他児への説明とその後のフォロー。
3			